

2026 関東チャレンジサイクルロードレース

Var.20260327



開催日	2026年4月19日(日)
開催地	群馬サイクルスポーツセンター 6kmサーキットコース、1.2km特設コース
主催 後援	一般社団法人群馬県自転車競技連盟 (公財)JKA、(公財)日本自転車競技連盟、関東自転車競技連合、 (公財)群馬県スポーツ協会、みなかみ町、みなかみ町教育委員会、 群馬サイクルスポーツセンター、GUL LLC (順不同) (予定)
協賛 協力	(株)クレーマージャパン、コーエィ株式会社、群馬ヤクルト(順不同)(予定) 医療法人高徳会上牧温泉病院、利根沼田広域消防本部西消防署、 群馬県高体連自転車競技専門部 (順不同) (予定)

～観戦者および競技関係者の方々へ～

皆さまの安全および環境配慮の観点から以下のことを遵守してください

- ・許可された場所以外でのコースの横断、許可された場所以外の立ち入りは厳禁とします。
- ・野生動物の餌となるものを捨てないでください。
- ・ゴミは各自で持ち帰り下さい。
- ・野草や山菜などの植物を持ち帰ることはやめてください。
- ・野生動物に出会った場合、威嚇しないで静かに逃げてください。
- ・選手の方々は十分にトレーニングを行った状態でご参加ください。

1. スケジュール

内容	時間	定員	備考
監督会議(4/18)	18:00～		Zoom
開門	6:30～		
競技役員ミーティング	6:30～		コントロールタワー前
ライセンスコントロール	7:00～12:31		管理棟前 各カテゴリースタート1時間前まで
コース試走および安全走行講習	7:00～8:30		6kmサーキットコース
バイクチェック、出走サイン	8:00～		管理棟前
エリート男子(6km×15周=90km) U23男子(6km×15周=90km)	9:00～11:50	100名	混走 6kmサーキットコース
U17女子(1.2km×25周=30km) U17男子(1.2km×25周=30km) U15女子(1.2km×25周=30km) U15男子(1.2km×25周=30km)	12:00～12:50	50名	混走 1.2km特設コース
コース試走	12:00～13:00		6kmコース上の1.2km特設コース以外
小学生(1.2km×5周=6km)	13:00～13:30	20名	1.2km特設コース
ジュニア男子(6km×10周=60km)	13:30～15:20	100名	6kmサーキットコース
エリート女子(6km×7周=42km) U23女子(6km×7周=42km) ジュニア女子(6km×7周=42km)	13:31～15:30	50名	混走 6kmサーキットコース
閉門	～16:30		

※バイクチェック・出走前サインはそれぞれのスタート時刻の1時間前～15分前までとする。

※各レースについて、先頭から規定時間以上遅れた場合カテゴリーに関わらずレースから除外する。

※準備が整い次第、1-3位を対象に表彰式を行う。

2. 実施カテゴリー

カテゴリー	区分	男子	女子
エリート	2003年以前生まれ	100	50
U23	2004年～2007年生まれ		
ジュニア(U19)	2008・2009年生まれ	100	
U17	2010・2011年生まれ	100	
U15	2012・2013生まれ		
小学生		20	

3. 参加資格

- ・2025年にJCF、高体連自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟、JBCFが開催したレースに出場している者とする。U15についてはこの限りではない。
- ・2026年(公財)日本自転車競技連盟競技者登録が完了した者とする。
ライセンスコントロール時に提示できない者は、ペナルティの対象となる場合がある。
- ・小学生カテゴリーに関してはライセンスコントロールを求めないが、保護者の同意書を提出すること。

4. 競技規則

UCI 規則及び (公財)日本自転車競技連盟(JCF)規則、本大会特別規則により競技を行う。

5. 主要役員

テクニカルデレゲート: 小野口 裕朗

チーフコミッサー: 和田 碧来

コミッサーパネル: 芦澤 拓郎、伊藤 将史

セーフティーマネージャー: 佐藤 孝之

レースディレクター: 田代 大和

6. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールの場所、時間は「1、スケジュール」に記載の通り。
- ・ゼッケンおよび計測チップを配布する。ボディナンバー装着用の安全ピン、フレームプレート装着用の結束バンドは各自持参とすること。⇒ゼッケンの装着方法は参考資料参照

7. 監督会議

- ・監督会議は前日18:00~からのオンライン (ZOOM) 開催とする。

【MTG URL】

【MTG QR】

<https://us05web.zoom.us/j/3515516874?pwd=AUBGLzOHE6bWzBtE6bicgsxCNalaks.1&omn=83093240234>



【ミーティング ID】 351 551 6874

【パスコード】 5tC2yW

8. コース試走について

- ・自転車に乗車の際は安全・事故防止の観点からヘルメット着用を義務付ける。
- ・利用料をCSCに支払うことで前日試走を可能とする。
⇒利用時間: 13時~16時 (16時までにはコースを出ること) 利用料: 500円
- ・23-6、会場レイアウトに黄色線で示したルートでコースへ入場することとする。
- ・安全走行講習を希望する選手は事前に群馬県自転車競技連盟のメールアドレスへ申請すること。
gunmacyclingfederation@gmail.com

9. バイクチェック・出走前サイン・集合

競技者は各自のスタート1時間前~15分前までに、会場レイアウト (23-4) に記載の場所で計測チップを取り付け、走行できる状態でバイクチェック並びに出走前サインを行い集合すること。

この際、出走するユニフォームにゼッケンを取付け、ヘルメットとともにチェックを受けること。

JCF 公認ヘルメット (小学生クラスは推奨) を必ず着用し、一度衝撃を受けたものは再使用しないこと。

目視で危険と判断したヘルメットでの出走は認めない。また手袋を着用することを推奨する。

※安全を徹するために、バイクチェック及びサインは全選手を対象とする。

10. スタート方式について

全カテゴリーにおいてローリングスタートとする。正式スタートはMOTOコミッセルの合図で行う。
ローリング中の事故等での再スタートは原則行わない。

11. 飲食料の補給

【50kmを超えるレースのみ補給及びゴミの投棄を認める】

- ・補給開始は30km以上（5周回完了直後）、残り20km以内（残り3周回手前まで）とする。
- ・補給は、23-1、コースマップに示す、S/F ライン通過後のFeed Zoneにおいて、進行方向左側からのみ行うことができる。
- ・Feed Zoneへの入場を希望するチームは**ライセンスコントロールの際**に申請すること。
- ・入場可能なスタッフは**各チーム2名まで**とする。アテンダントまたはコーチライセンス所有者とする。
- ・必ず選手と同一柄の衣類を着用、ライセンスを提示できる状態にすること。
- ・Feed Zoneへの横断は試走入口（関門）とする。（23-6参照）
- ・安全性を重要視するため、Litter Zoneは投棄する場所、Feed zoneは受け取る場所とする。
- ・レース終了後は速やかに各自のボトル・補給食のゴミ等を回収すること。
- ・補給が認められていないカテゴリーは、Feed Zone及びLitter zoneを使用できない。

※Litter zone以外でのボトル並びにゴミの投棄はペナルティの対象となる。

12. 機材の供給

- ・チームからの機材交換はFeed Zone内のみ認める。機材の交換はコース進行方向左側で安全に行うこと。
- ・主催者による機材の提供は行わない。
- ・FeedZoneへの立ち入りは、「11.飲食料の補給」と同様とする。

13. タイムアウト

- ・各レースについて、先頭から規定時間以上遅れた場合カテゴリーに関わらずレースから除外する。
また、コース上においてもコミッセルにより競走の中止を宣言する場合がある。
その際はコミッセルの指示に従う事。
- ・優勝者の完走時間より8%以上遅れて完走した者には、原則として順位を与えない。
- ・小学生レースについても関門を設けるが、危険な状況にない限り、周回遅れでの走行を認める。
但し、先頭がゴールした周回で競技を終了する。

14. 表彰

- ・フィニッシュ後、準備が整い次第、**1-3位**を対象に表彰式を行う。
対象者は、管理棟の表彰式会場に集合すること。
- ・表彰についてはJCF競技規則第1部-11（第28章） 公式行事を遵守すること。
- ・各カテゴリー15位までの選手には、全日本自転車競技選手権大会ロードレースの申込資格が与えられる。（但し日本国籍でない者は申込資格無効であるが、その分繰上げはしない）
また申込資格については、完走を条件とし、DNF,FAD（タイムオーバー）は含まない。

15. 棄権、失格について

- ・スタート時刻にスタートラインに並んでいない競技者は棄権したものとみなす。
- ・失格、または棄権した競技者は、競技を続けることも非公式に追走することもできない。
- ・自走可能な選手は、ボディナンバーを取りコミッセル等の指示に従い、順走でコース外に出ること。

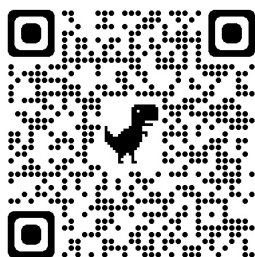
16. ペナルティ

- ・ペナルティは、最新の UCI/JCF 規則を採用する。「1 スイスフラン = 200 円として日本円に換算する」
なお、最終スプリントについては、下記に注意し安全に走行すること。
- ・斜行の禁止（自身の走行ラインを守ること）
- ・集団内（2 名以上）での両手手放しは禁止とする。

17. レース中断・キャンセルについて

- ・予測できない事故や天候の変化により競技運営が不可能と主催者が判断した場合、大会を中止または内容を変更することがある。この場合の参加料は返金しないこととする。
- ・前日までのレースキャンセルについては、**前日18時頃までにSNS上で発表する。**

Facebook



X(旧Twitter)



18. インフォメーション・コミュニケ

インフォメーション並びにコミュニケは群馬県自転車競技連盟のSNSにて掲載する。

19. 個人情報の取り扱い

- ・大会に際して提供される個人情報は、本大会の活動に利用し、これ以外の目的に利用することはない。
資格の確認及び大会にかかる諸連絡を行うことがある。
- ・氏名、生年月日、所属、競技成績、競技歴、写真等をポスター、プログラム、コミュニケ等で掲載する場合がある。その他、新聞社等マスコミ関係に情報を提供し、新聞等メディアに掲載される場合がある。
その権利は主催者に属することを了承すること。

20. アンチドーピング

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象となりうる大会となる。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできます。

18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

→ <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

- 4、本競技会参加者は、ドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。
- アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- 5、競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- 6、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認して下さい。

<http://www.playtruejapan.org>

21. 機材規制(大会特別規則)

- ・本レースへ参加するU15、U17の選手については、**リム高制限（35mm以内）**を行う。
- これは未熟なハンドリングによる事故を未然に防ぐため・保護者の経済的負担を軽減するため・使用機材による公平性を保つために行うものとする。

22. その他注意事項

- ・参加協議者は、事前に各自でスポーツ保険等に参加する他、健康保険証を持参すること。
- ・計測チップ、フレームプレートを持ち帰ってしまった場合は速やかに主催者まで連絡すること。
- 持ち帰ってしまった場合は、実費請求とする。
- ・ボディナンバーを取り付ける安全ピンや結束バンド等は各自で用意すること。
- ・本大会は安全を徹するために、競技以外での自転車乗車時もヘルメットを必ず着用すること。
- ・レースジャージは、所属するチームのジャージを着用すること。ただし小学生,U15はこの限りではない。
- 2025年から2026年にかけて所属チームが変更になった・所属チームがない選手に限り単色・文字なしのジャージ着用を認める。ただし、受付締め切り（3/31）までにメールにて申請すること。
- ・スケジュール等の変更やリザルト等については、連盟公式SNS（X・Facebook）で配信する。
- ・レースを中断する場合は、関門で離脱をすること。ただし、やむを得ずコースの途中で離脱をする場合は、コミッサーに声をかけること。
- ・ゴミは必ず各自で持ち帰ること。万が一野生動物が出没した際には、餌付けはしないでください。
- ・昼食等の食事をする際は、野生動物が出現する危険性を考慮して車内または建物内にて行うこと。
- なお、管理棟2階部分は食事や休憩をする場として開放する。
- ・会場での荷物の紛失、盗難及び事故につきましては、主催者は一切の責任を負いません。各自で荷物の管理及び事故に関しての十分な注意をお願いします。

23. 会場(詳細一覧)

【開催地】 群馬サイクルスポーツセンター

〒379-1411 群馬県利根郡みなかみ町新巻3853

TEL: 0278-64-1811

※会場内での事故や盗難について主催者は一切の責任を負わない。各自で厳重に管理すること。

サイクルスポーツセンターへの交通案内

* 車で

【関越自動車道 月夜野ICから約25分】

【関越自動車道 水上ICから約20分】

* 電車で

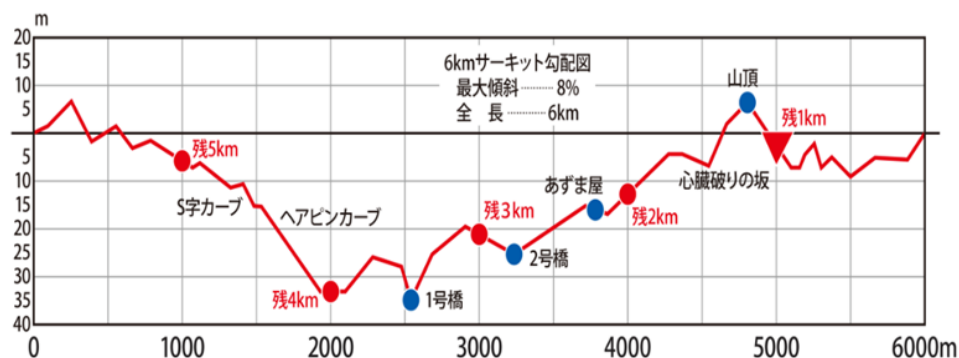
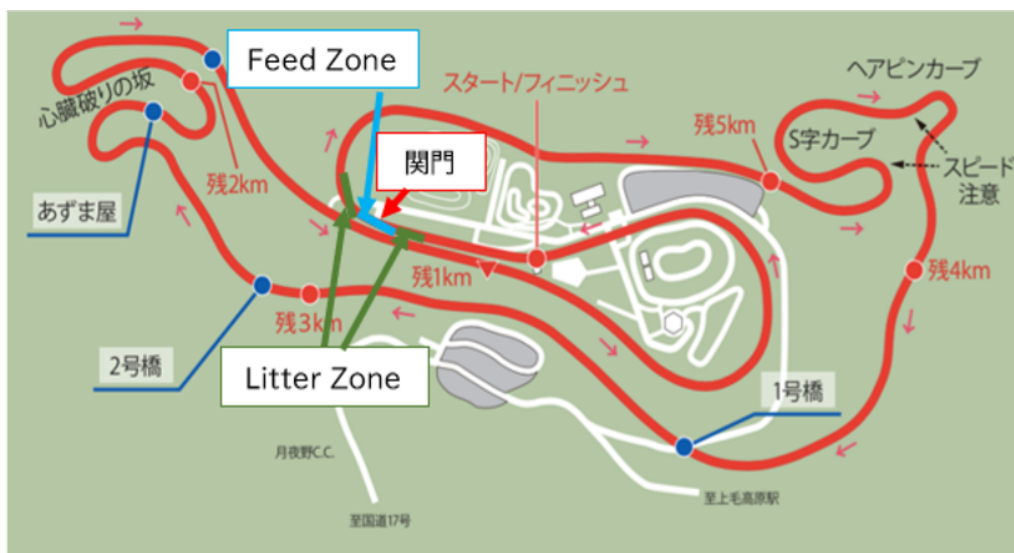
【上越新幹線】

上毛高原駅下車、タクシー利用約10分

【大会本部】

- ・大会本部は 2026年4月19日（日）6:30～レース終了まで管理棟前に設置される。
- ・大会当日までの問い合わせ先：群馬県自転車競技連盟 (gunmacyclingfederation@gmail.com)

23-1.コースマップ(6kmコース、スタート/フィニッシュ、関門、feed & litter zone位置)



23-2.コースマップ(1.2km特設コース、スタート/フィニッシュ位置)

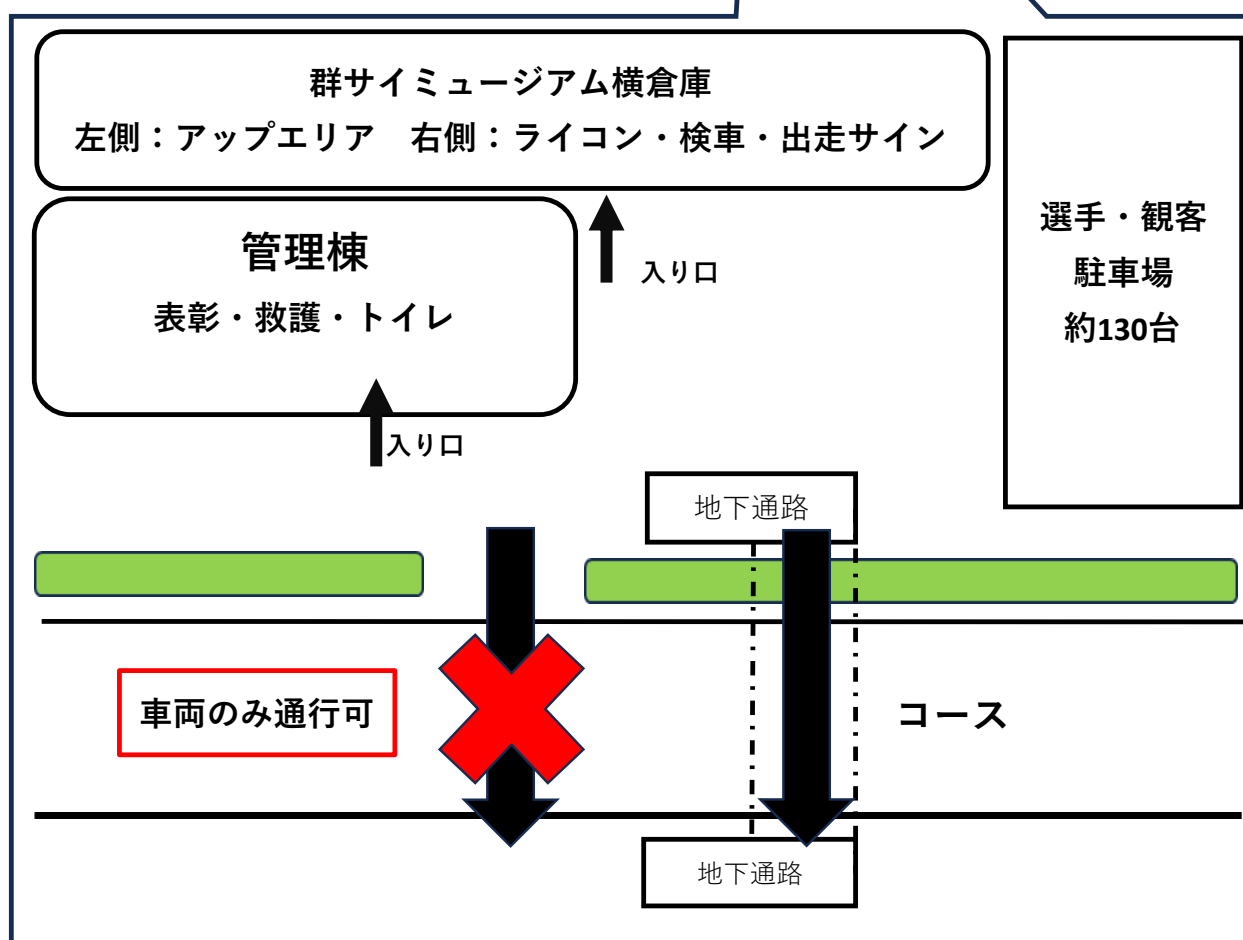


23-3.会場レイアウト(立ち入り禁止エリア、臨時駐車場)



・臨時駐車場はコースを横断するためレース中の車両横断は禁止する。選手・観客は必ず地下通路を通り、臨時駐車場以外のエリアに立ち入ることを禁止する。

23-4.会場レイアウト(管理棟前、選手および観戦者駐車場)



23-5.会場レイアウト(管理棟横、選手駐車場)



管理棟

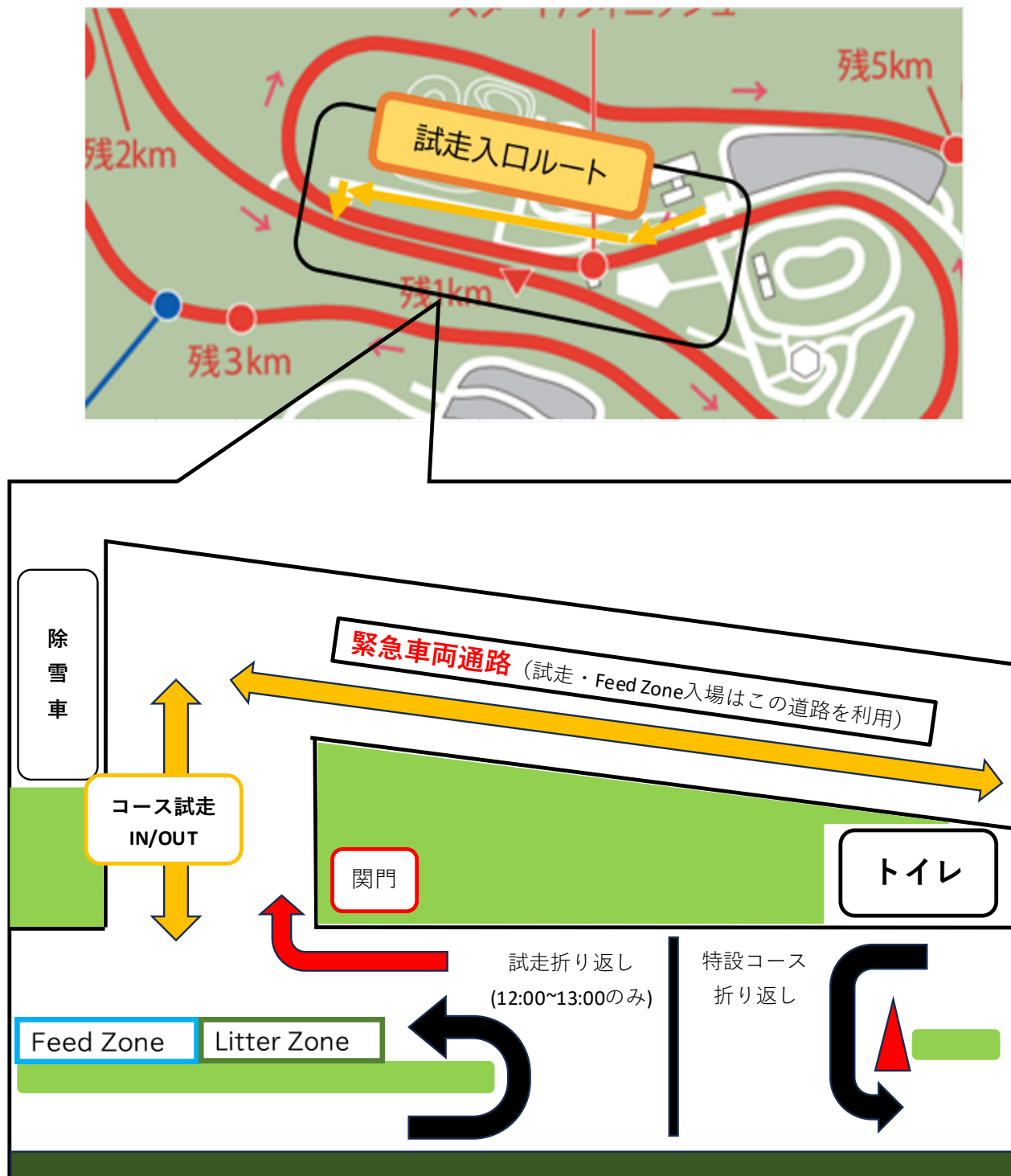
表彰・救護・トイレ

緊急車両通路

(試走・Feed Zone入場はこの道路を利用)

管理棟より先は
車両進入禁止

23-6.会場レイアウト(試走およびFeed Zone入口ルート)



23-7.会場レイアウト(役員駐車場)



【役員駐車場】

役員の方は配布する駐車証を持参し、
車内の見える位置に置いてください。
※関係者以外の立ち入りを禁止しま
す。

救急措置

医療法人高德会上牧温泉病院	群馬県利根郡みなかみ町石倉198-2	0278-72-5858
月夜野病院	群馬県利根郡みなかみ町真庭316	0278-62-2011
利根中央病院	群馬県沼田市沼須町910-1	0278-22-4321
沼田脳神経外科循環器科病院	群馬県沼田市栄町8	0278-22-5052

※状況により別の病院へ搬送する場合があります。会場の救護所は応急処置のみです。

24. クマ出没に関する注意事項

当会場では、過去に熊の目撃情報があります。そのため、会場内では以下の点にご注意ください。

1. 単独での行動を控え、なるべく複数人で行動をしてください。
2. 「22. その他注意事項」に記載しているゴミや飲食に関しての注意をよく読み、ルールを守ってください。
3. 万が一クマを見かけた場合は刺激せず静かにその場を離れ、近くの運営役員までお知らせください。
4. 競技中にコース周辺で見かけた際には、モトコミッセルへお知らせください。
5. 「23-3」のマップ上の青線以外の場所は管理外となりますので、立ち入り禁止とします。

参考資料

【ボディー・ナンバー】図①を参考にそれぞれのゼッケンは**5 c m以上間隔を空けて**取り付ける。

【フレームプレート】図②を参考に**ヘッドチューブ左側またはサドル下**に取り付ける。

【計測チップ】図③を参考に**フロントフォーク先端から15cm以上の位置に結束バンドで確実に固定**する。

※ボディー・ナンバーの「カット・折り曲げ」等はペナルティ対象

